

今までに「エンディングノート」を手にした方も多くいらっしゃると思います。しかし、書き上げたという方は僅か2%。なぜでしょう？今までのエンディングノートは、正解を書かなければいけないというイメージが強く、作業になりがち。そうすると諦めてしまう方が多くなるのです。

私が講師を務める際に使用する「マンダラエンディングノート」は、簡単な質問に答えるだけで必ず書き上げることができます。書き終えた時には自分の大切にしたいという想いを知ることができ、これからの生き方が見えてきます。このノートを使うと、「人との関わり合いの中で自分は生きていく」という思いが自然と湧いてきます。「どのように生きていきたいのか?」「どのように大切な人へ想いを伝えたいのか?」「どのようにして遺したいのか?」そこにはあなたの想いが不可欠なのです。何が大切なのかに気付くことで、これからの生き方の道標ができ、安心に繋がります。

セミナーには家族や夫婦でご参加される方も多く、本当の気持ちをお互いに素直に話される光景にたくさん出会ってきました。1人でも多くの方にそんな体験をしていただきたいと思います。ご興味のあるかたはどうぞお声がけください。

(文責:都筑(ツツキ))



企業様や団体様向けの終活セミナー、エンディングノートセミナーの講師依頼をよくいただきます。



マンダラエンディングノートは、9つのマス(質問)が重要な鍵をにぎっています。

FP小林の視点

日々のコンサルティングの現場で私が心掛けていることの一つに、「お金の使い方について、お客様と一緒に考える」というのがあります。

一般にFPのコンサルティングというと、お金の節約の仕方、貯め方、殖やし方、残し方といった視点になるかと思いますが、もちろん、それはとても大切なことですが、私もじっくりと時間を取っています。でも、それ以上に時間をかけて「使い方」を考えていくことが大切だと思っています。

申し上げるまでもなく、お金は使われて初めてお金です。残高欄に並んだ金額もただの数字の羅列(ちょっと言い過ぎでしょうか)にすぎません。一生懸命残したお金で何をされたいのか?何を為すべきなのか?お金の出口までご相談にのるのが私のコンサルティングの仕事と、勝手に決めちゃっています。

個人であれ法人であれ、お客様の大切なお金です。お客様のために、ご家族や従業員の方々のために、地域社会やお取引先のために、残したお金をどのようにしたら最大限に活かして使っていただけるか、そんなことをあれこれ考えながら今日もお客様のところへ伺っています。

(文責:小林)



春爛漫号発行にあたって

さくらの花びらが、日本全国をピンクに染める季節。

この時期は、入学、就職、転職とそれぞれのステージを変え、生活スタイルが一新された方も多いのではないのでしょうか。

弊社東京オフィスもこの春、大手町から品川高輪エリアに拠点を移し、個別のご相談をじっくりお伺いできる商談室、さらには相続や事業承継、ライフプランセミナーなども開催できるスペースを確保し、新たなステージでの事業展開を進めていくことといたしました。

また、4月から新規のスタッフとして、江上朋良(えがみ ともよし)が加わり、相続・事業承継のコンサルティングや弊社で開催する研修事業に携わることとなっております。江上からは、あらためて次号以降にてご挨拶させていただきますが、大阪のスタッフともども全社一丸となって皆様の人生の伴走者としての役割を果たしていく所存ですので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社キーストーン・株式会社キーストーンFPコンサルタンツ 代表取締役 石野 毅



東京オフィス移転のご案内

この度東京オフィスは、品川駅近くに移転いたしました。4月から新メンバーも増え、また業務内容も拡大していく中、従来の大手町オフィスが手狭になってきたことが理由ですが、古くからの交通要衝の地である品川に変化快適なオフィスを構えることができました。これも他ならぬお客様方のご支援の賜物と、深く感謝いたしております。

新オフィスは品川駅高輪口徒歩2分ほど。国際色豊かなビジネスマンや観光客で賑わう駅前を抜け、オフィスに向かう短い道中には、これからの季節は新緑が眩しい高輪プリンスホテルの広大な庭園も垣間見え、一張一弛の趣です。

新オフィスには個室の面談室も備えております。私どもがお伺いするご相談の多くは秘匿性の高いものですので、面談場所についてはお客様にもお気遣いをおかけしてまいりました。今後はくつろいだ空間でゆっくりとご相談をお伺いすることができます。面談室でのご相談につきましてはどうぞお気軽にお申し付けください。

新オフィスの東向き開放感抜群の大きな窓からは品川駅を発着する各電車が一望でき、さながらリアルプラレールのような品川～田町間に新設されるJR山手線30番目の新駅建設現場も近く、日々強いエネルギーを感じることができます。ダイナミックに変貌を遂げる品川の地にパワーをもらい、東京オフィスもお客様のお役立ちのため更なる進展を続けて参ります。どうぞご期待ください。

東京オフィス 統括マネージャー 小林 諭(コバヤシ サトル)



右から石野、小林、都筑、江上(新メンバー)



〒108-0074 東京都港区高輪3-25-22 高輪カネオビル5F
TEL:03-6277-4739 FAX:03-6459-3039
(JR各線・京急線「品川駅」高輪口から 徒歩2分)

今回ご紹介させていただくお客様は、今年創業55年を迎える、日本のおしほり業界でも草分け的存在である株式会社京都カネヨシの中塚浩社長。創業者で義父(奥様の父上)である故西村昇会長から20年ほど前に実質的に事業を承継してからは、クリーニング事業の営業権の買取りや大型の設備投資、さらには後継者難の問題を抱える同業のM&Aなどを手掛け、京都では圧倒的なシェアを誇る優良企業に育て上げ、現在は大阪にも営業エリアを堅実に広げている優秀かつ温厚な経営者です。

実は中塚社長、私の高校時代の同級生という旧知のなか。私が生命保険業界に入った頃から仕事でもお付き合いをさせていただいております。特にここ数年は、次世代に事業を引き継いでいける盤石な企業体制を作るための事業計画づくりを財務面からお手伝いし、互いの経営上の悩みを相談し合う良き友人でもあります。

経営者としての中塚社長と接して思うのは、人柄の良さと決断実行力。誰とでも自然と打ち解ける人当たりの柔らかさで人望も厚く、結果的に争うことなく事業を拡大していく。まさに孫氏の兵法を地で行く経営手腕を発揮されています。



一本のおしほり

見た目は同じ、カネヨシのおしほりは中身が違います。

株式会社京都カネヨシ

私はここ数年来、事業承継のコンサルティング業務を中心に手掛けていますが、中小企業経営者の多くは自分の後継者を決められずにいるという悩みを抱えています。個人に将来を見通すライフプランが必要なように、企業経営も将来が見通せるような事業計画をしっかりと立てないと、今は順調であっても、必ず起こる事業承継のタイミングで大きな問題となりかねません。

そんななか、京都カネヨシ様は、将来の事業承継までを見据えた

経営計画を立てることで、結果的に地域一番企業としての強みを更に高められているようです。

個人における相続、企業における事業承継は、将来を見通しながら事前に対策を立てていくことが特に重要です。弊社では、そんな相続・事業承継に強みを持つコンサルティング会社ですので、いつでもお気軽にご相談ください。

(文責 石野)



社員の中野真吾さんが作詞・作曲し、自らが歌っている、ミステル張りのアマチュアとは思えないノリの良い楽曲です。
ホームページ: <http://www.kyoto-kaneyoshi.co.jp/>

中塚社長からメッセージ



中塚社長(中央)、
総務担当久保取締役(左)と一緒に

「生命保険なんて多少の違いはあれ、どれも一緒」という考えで保険を軽視していた私に、商品によっては会社の財務内容が大きく変わる非常に重要なファイナンス商品であることを教えてくれたのが宝塚高校の同級生である石野君でした。振り返ると経営活動の節目節目で税務対策や事業承継について提案いただいた的確なプランにより、都度最善の道を選択することが出来たんだと感じます。今ではなくてはならない良き理解者でありパートナーです。

株式会社京都カネヨシ 代表取締役 中塚 浩



両家のご家族様と弊社石野・木村。
ご家族全員揃っていないのにこの人数!

「人もモノもよく集まってくる家なんですよ」。

おらかな笑顔で話すのは佐藤一江様。「来る者は拒まずが代々の家風」を体現した、吹き抜けの高い天井と温かさに満ち溢れたリビングが印象的な佐藤様のご自宅で話しをお聞きしました。弊社石野との出会いは17年前。ひとみ様がお結婚されてからは盛岡様ともご縁ができ、「人生の節目節目でキーストーンさんには相談してきました」と、お二人のお母様から3世代にわたるお付き合いです。

お父様は早くに亡くなり、姉の一江様がひとみ様の父代り。そのことが姉妹の絆をより深めました。お母様の病気が発覚してからは、治療法や費用をどうするか等、母娘で相談しながら決めたそうです。闘病生活は10年にわたりましたが「その間に準備や気持ちの整理はできましたね」。母娘のやりとりをそっと見守り続けたお二人のご主人の存在も大きく、「相続が発生

した時、もめるようなことは何1つありませんでした」。「キーストーンさんは、母から私達へはもちろんのこと、私達から子供達への相続まで見越してお話ししてくれました。これで将来の不安もなくなりました」と穏やかな表情で話され、「手続きは煩雑でしたが、木村さんのフォローのお陰で、無事に終わりつつあります」とほっとしたご様子もうかがえました。そして最後にこんな言葉をいただきました。

「キーストーンを知っているというだけで、人生設計において勝ち組だと思います」。

相続にまつわるご相談は長期間にわたります。兵庫県三田市にお住まいの佐藤様を大阪オフィスの石野と木村、2世代のFPでお手伝いしたように、東京オフィスも同様の体制でお客様に途切れることなく安心をお届けする体制を構築しております。ご相談等ございましたら、いつでもご連絡ください。(文責:野田)



いつも賑やかなリビングをお母様が静かに見守っています。
このひな人形も買ってくださったそうです。

FP木村圭吾より

佐藤様、盛岡様とはお母様が亡くなった頃からお付き合いさせていただいています。最初、えもいわれぬ緊張感が背筋に走りまわりました!!!過去十数年間保管してあるライフプランの記録を手に取った時、ずっしりとした重みに歴史を感じ、身震いしたのを覚えています。(汗)

弊社に大きな信頼を寄せて頂いている大切なお客様。悲しみ間もない中での手続き。できるだけストレスなくスムーズにお手続いただけるよう尽力しようと思いました。今後も長く、弊社に信頼いただけるよう丁寧な対応を心がけてまいります。



佐藤一江様(左)と盛岡ひとみ様。
どんな質問にも答えてくださいました。
信頼を肌で感じたインタビューでした。